

授業計画(シラバス)

教科	一般	科目	経営概論		対象級	専門課程 一級自動車研究開発 学科3年(一級コース)	作成月日	25/04/01
						開講期		後期
教科担当	別紙参照							
実務経験教員授業	非該当	総時限	17時限	授業方法	講義	評価方法	学科試験 単元試験	取組加減
〔授業概要・目的〕								
・ビジネスで必要な、企業理念や会社経営の考え方を理解								
〔授業の到達目標〕								
・ホンダのビジネスに関わる基本理念や仕事の進め方を理解する。								
〔学習評価の基準〕								
各試験点数の基準、授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。								
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの								
各試験点数の評価は 5:90 ～100点 4:75 ～ 89点 3:60 ～ 74点								
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。								
〔使用教科書・教材等〕								
ホンダフィロソフィ								
授 業 計 画 表								No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)						
1		ホンダの理念						
	5	1. 基本理念、人間尊重、三つの喜び						
		2. 社是						
		3. 運営方針						
	11	コミュニケーション講座						
		1. 社会人としてのコミュニケーション						
		2. コミュニケーションの原則①						
		3. コミュニケーションの原則②						
		4. 聴き手としての技術①						
		5. 聴き手としての技術②						
		6. 話し手としての技術①						
		7. 話し手としての技術②						
		8. 情報の扱い方と文章作成						
	1	単元確認						

授 業 計 画(シ ラ バ ス)

教科	一般	科目	営業実務		対象級	専門課程 一級自動車研究開発 学科3年(一級コース)	作成月日	25/04/01
							開講期	後期
教科担当	別紙参照							
実務経験教員授業	非該当	総時限	17時限	授業方法	講義	評価方法	学科試験 単元試験	取組加減
〔授業概要・目的〕								
・自動車販売店の各部門の業務を理解する								
〔授業の到達目標〕								
・ホンダカーズ店の営業部門について知識を習得する。								
・ホンダアクセス製の用品について知識を習得する。								
〔学習評価の基準〕								
各試験点数の基準、授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。								
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの								
各試験点数の評価は 5:90 ～100点 4:75 ～ 89点 3:60 ～ 74点								
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。								
〔使用教科書・教材等〕								
ディーラーオペレーション研修テキスト								
授 業 計 画 表								No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)						
1		【営業スタッフ研修基礎編】						
	1	1. 研修のねらい、心構え						
	1	2. 3分間スピーチ						
	1	3. 接遇マナーの重要性						
		4. 接遇マナーの基本						
	1	5. 心を伝える挨拶						
		6. 名刺の扱い方						
	1	7. 好感のもたれる話し方						
		8. 信頼される電話応対						
	1	9. 来店接遇						
		10. 訪問の心得						
	1	11. メールのルールとマナー						
		12. セールスレターの重要性						
	1	13. 自動車業界知識						
		14. 販売会社と営業スタッフ						

	1	15. 販売の基本活動
		16. 販売会社の仕事とe-Dealer
	1	17. 見つける活動
		18. 育てる活動
	1	19. 売る活動
		20. 自動車注文書
	1	21. 代金の回収
		22. 販売と法規制
	2	23. 自動車の税金
		24. 保証書
	2	25. 守る活動
		26. 顧客満足の最大化
	1	単元確認

授業計画(シラバス)

教科	一般	科目	営業実務		対象級	専門課程 一級自動車研究開発学科3年	作成月日	25/04/01
							開講期	前期
教科担当	別紙参照							
実務経験教員授業	非該当	総時限	17時限	授業方法	講義	評価方法	学科試験 単元試験	取組加減
〔授業概要・目的〕								
・サービス・フロントの業務を理解し、準サービス・フロントとして活動できるようになる。								
〔授業の到達目標〕								
・CS（お客様満足度）の重要性を意識した、お客様対応の知識を習得する。								
・不満を持ったお客様に対する基礎的な対応の知識を習得する。								
〔学習評価の基準〕								
各試験点数の基準、授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。								
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの								
各試験点数の評価は 5:90 ～100点 4:75 ～ 89点 3:60 ～ 74点								
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。								
〔使用教科書・教材等〕								
ホンダサービスエンジニア二級 ソフト編								
授 業 計 画 表								No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)						
1	6	フロント業務						
	3	お客様満足の向上						
	3	状況の把握						
	2	情報を伝える						
	1	対応の締めくくり						
	1	苦情対応						
	1	単元確認						

授業計画(シラバス)

教科	一般	科目	情報処理技術		対象級	専門課程 一級自動車研究開発 学科3年(一級コース)	作成月日	25/04/01
							開講期	前期
教科担当	別紙参照							
実務経験教員授業	非該当	総時限	17時限	授業方法	講義	評価方法	学科試験 単元試験	取組加減
〔授業概要・目的〕								
・社会人として必要な情報機器の知識・技術を習得する。								
〔授業の到達目標〕								
・情報技術を利用することで生活が変わることや、自動車業界への影響などの知識を習得する。								
・情報機器やデータを扱う上でのリスクに関する知識を習得する。								
・実務で使用するオフィスソフトの用途や特徴を理解し、簡単な資料作成が可能な知識・技術を習得する。								
〔学習評価の基準〕								
各試験点数の基準、授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。								
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの								
各試験点数の評価は 5:90 ～100点 4:75 ～ 89点 3:60 ～ 74点								
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。								
〔使用教科書・教材等〕								
学生持込のPC								
授 業 計 画 表								No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)						
1	4	情報技術						
		1. 情報技術、ITとは						
		2. 自動車に関わる情報技術						
		3. 自動車整備に関わる情報技術						
	6	オフィスソフトの使い方(演習)						
		1. エクセルの使い方と活用方法						
		2. ワードの使い方と活用方法						
		3. パワーポイントの使い方と活用方法						
		4. オフィスを使用したポスターの作成						
		5. オフィスを使用した履歴書の作成						
	6	就職を意識した企業調査						
		1. インターネットを活用した企業情報の調査						
		2. 調査結果まとめ						
	1	単元確認						

授業計画(シラバス)

教科	学科 自動車工学	科目	自動車構造力学		対象級	専門課程 一級自動車研究開発 学科3年(一級コース)	作成月日	25/04/01
						開講期	後期	
教科担当	別紙参照							
実務経験教員授業	非該当	総時限	17時限	授業方法	講義	評価方法	学科試験 単元・期末試験	取組加減
〔授業概要・目的〕								
・自動車の振動・騒音について知識を習得する。								
〔授業の到達目標〕								
・力学的要素について、知識を習得する。								
・性能に関する要素について、知識を習得する。								
・自動車の構造について、機械的機構や電子制御装置関係等詳しく知識を習得する。								
〔学習評価の基準〕								
各試験点数の基準、授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。								
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの								
各試験点数の評価は 5:90 ～100点 4:75 ～ 89点 3:60 ～ 74点								
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。								
〔使用教科書・教材等〕								
一級自動車整備士 シャシ電子制御装置								
授 業 計 画 表								No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)						
1	1	高度整備技術 概要・振動と音						
	1	振動の基本・音(騒音)の表し方						
	1	音の基本・振動と騒音の防止						
	1	振動と騒音の防止・計測機器						
	1	計測器の種類						
	3	車両各部の振動・騒音と低減の対応:エンジン関係						
	6	車両各部の振動・騒音と低減の対応:シャシ関係						
	1	車両各部の振動・騒音と低減の対応:ボデー関係						
		高度故障診断技術 概要・効率的な故障診断技術・故障診断方法:振動の故障診断						
	1	故障診断方法:騒音の故障診断						
	1	故障診断方法:振動・騒音分析器の活用						

授業計画(シラバス)

教科	学科 自動車工学	科目	自動車電気・電子		対象級	専門課程 一級自動車研究開発 学科3年(一級コース)	作成月日	25/04/01
							開講期	前期
教科担当	別紙参照							
実務経験教員授業	非該当	総時限	17時限	授業方法	講義	評価方法	学科試験 単元・期末試験	取組加減
〔授業概要・目的〕								
・一級整備士レベルでの自動車電子装置における知識を習得する。								
・エンジン電子制御の、電源回路、センサーについて知識を習得する。								
〔授業の到達目標〕								
・電子回路の基本と故障に対する知識を習得する。								
・電子回路の測定における機器の性能や活用などについて、実践できるように知識を習得する。								
・電子制御回路の基本と応用及び点検診断等の知識を習得する。								
〔学習評価の基準〕								
各試験点数の基準、授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。								
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの								
各試験点数の評価は 5:90 ～100点 4:75 ～ 89点 3:60 ～ 74点								
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。								
〔使用教科書・教材等〕								
一級自動車整備士 エンジン電子制御装置								
授 業 計 画 表								No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)						
1	1	エンジン電子制御の概要						
	1	電源回路の構成と診断						
	2	センサ:論理信号センサ 種類・回路の構造・機能						
	8	センサ:リニア信号センサ 種類・回路の構造・機能						
	3	センサ:周波数信号センサ 種類・回路の構造・機能						
	2	センサ:その他のセンサ 種類・回路の構造・機能						

授業計画(シラバス)

教科	学科 自動車整備	科目	総合診断技術		対象級	専門課程 一級自動車研究開発 学科3年(一級コース)	作成月日	25/04/01
						開講期	後期	
教科担当	別紙参照							
実務経験教員授業	非該当	総時限	16時限	授業方法	講義	評価方法	学科試験 単元・期末試験	取組加減
〔授業概要・目的〕								
・1級整備士に必要なお客様対応能力を習得する								
〔授業の到達目標〕								
・お客様に対する問診・作業説明・応酬話法等について、実践を踏まえながら、知識・技能を習得する。								
〔学習評価の基準〕								
各試験点数の基準、授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。								
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの								
各試験点数の評価は 5:90～100点 4:75～89点 3:60～74点								
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。								
〔使用教科書・教材等〕								
一級自動車整備士 総合診断・環境保全・安全管理								
授 業 計 画 表								No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)						
1								
	1	自動車整備に関する総合診断 1. サービス産業の概要						
	1	自動車整備に関する総合診断 2. サービス産業としての自動車整備事業						
	1	自動車整備に関する総合診断 3. 顧客満足度(CS)の概念						
	5	自動車整備に関する総合診断 4. 自動車整備事業におけるサービスの提供						
	4	自動車整備に関する総合診断 5. 自動車関係法令などの適切な運用とその活用						
	2	応酬話法 1. 整備業務全般の実務						
	2	応酬話法 2. 整備業務の基本的な応酬話法						

授 業 計 画(シ ラ バ ス)

教科	学科 自動車工学	科目	新材料・新技術	対象級	専門課程 一級自動車研究開発 学科3年(一級コース)	作成月日	25/04/01
						開講期	後期
教科担当	別紙参照						
実務経験教員授業	非該当	総時限	17時限	授業方法	講 義	評価方法	学科試験 単元・期末試験
取組加減							
〔授業概要・目的〕							
・自動車新技術(ハイブリッド車、圧縮天然ガス自動車、筒内噴射式ガソリン・エンジン、コモ・ンレール式高圧燃料噴射システム、無段変速機、車両安定制御装置、SRSエア・バッグ、プリテンショナ・シート・ベルト)について知識を習得する。							
〔授業の到達目標〕							
・各新技術の特徴、構造、機能、点検、整備について、知識を習得する。							
〔学習評価の基準〕							
各試験点数の基準、授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。							
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの							
各試験点数の評価は 5:90～100点 4:75～89点 3:60～74点							
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。							
〔使用教科書・教材等〕							
一級自動車整備士 自動車新技術							
授 業 計 画 表							No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)					
1	3	ハイブリッド車 概要・構造機能・点検整備					
	5	圧縮天然ガス(CNG)自動車 概要・構造機能・点検整備・関係法規					
	2	筒内噴射式ガソリン・エンジン 概要・構造機能・点検整備					
	1	コモ・ンレール式高圧燃料噴射システム 概要・構造機能・点検整備					
	2	無断変速機(CVT) 概要・構造機能・点検整備					
	1	車両安定制御装置 概要・構造機能・点検整備					
	3	SRSエア・バッグ及びプリテンショナ・シート・ベルト 概要・構造機能・点検整備					

授業計画(シラバス)

[illegible]

授業計画(シラバス)

[illegible]

授業計画(シラバス)

教科	学科 自動車整備	科目	環境安全論		対象級	専門課程 一級自動車研究開発 学科3年(一級コース)	作成月日	25/04/01
							開講期	前期
教科担当	別紙参照							
実務経験教員授業	非該当	総時限	19時限	授業方法	講義	評価方法	学科試験 単元・期末試験	取組加減
〔授業概要・目的〕								
・環境保全と安全管理についての知識を習得する。								
〔授業の到達目標〕								
・「環境保全」の必要性と意義、資源の有効利用の知識を習得する。								
・産業廃棄物の影響と対応、整備工場における適正処理等の知識を習得する。								
・「安全管理」の意義と重要性、知識を習得する。								
〔学習評価の基準〕								
各試験点数の基準、授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。								
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの								
各試験点数の評価は 5:90～100点 4:75～89点 3:60～74点								
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。								
〔使用教科書・教材等〕								
一級自動車整備士 総合診断・環境保全・安全管理								
授 業 計 画 表								No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)						
1	1	環境保全 1. 地球規模の環境保全とその必要性						
	1	環境保全 2. 資源の有効利用						
	5	環境保全 3. 産業廃棄物処理の影響と対応						
	1	環境保全 4. 整備事業所などにおける環境保全						
	1	安全管理 1. 安全管理の意義						
	1	安全管理 2. 災害のあらまし						
	4	安全管理 3. 災害防止						
	4	演習:校内危険箇所調査とまとめ・発表						
	1	単元確認						

授業計画(シラバス)

教科	学科 機器の構造・取扱い	科目	整備作業機器取扱い		対象級	専門課程 一級自動車研究開発 学科3年(一級コース)		作成月日	25/04/01
								開講期	前期
教科担当		別紙参照							
実務経験教員授業		非該当	総時限	9時限	授業方法	講義	評価方法	学科試験 単元・期末試験 取組加減	
〔授業概要・目的〕									
・一級整備士レベルでの自動車電子装置の点検に用いられる機器の知識を習得する。									
・サーキット・テスタ、オシロスコープ、外部診断器の取扱いについて知識を習得する。									
〔授業の到達目標〕									
・各計測器の特性と適用範囲を理解する。									
・測定対象の電気回路の特性を理解する。									
・機器の活用方法を理解する。									
〔学習評価の基準〕									
各試験点数の基準、授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。									
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの									
各試験点数の評価は 5:90 ～100点 4:75 ～ 89点 3:60 ～ 74点									
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。									
〔使用教科書・教材等〕									
一級自動車整備士 エンジン電子制御装置									
授 業 計 画 表									No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)							
1	7	サーキット・テスタ 種類と基本測定技術							
	1	オシロスコープ 整備機器要件とオシロスコープで行う点検							
	1	外部診断器 機器の概要・測定機能及び活用方法							

授業計画(シラバス)

[illegible]

授業計画(シラバス)

[illegible]

授 業 計 画(シ ラ バ ス)

教科	学科 自動車概論	科目	自動車概論Ⅰ		対象級	専門課程 一級自動車研究開発 学科3年(一級コース)	作成月日	25/04/01
							開講期	後期
教科担当	別紙参照							
実務経験教員授業	非該当	総時限	18時限	授業方法	講義	評価方法	学科試験 単元・期末試験	取組加減
〔授業概要・目的〕								
・ホンダサービスエンジニア二級の資格を取得する。								
〔授業の到達目標〕								
・電気装置の周辺知識と故障診断について習得する。								
・電子制御の構成と故障診断について知識を習得する。								
・自動車の周辺知識(振動・騒音、雨漏れ、燃費向上技術)について知識を習得する。								
〔学習評価の基準〕								
各試験点数の基準、授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。								
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの								
各試験点数の評価は 5:90～100点 4:75～89点 3:60～74点								
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。								
〔使用教科書・教材等〕								
ホンダサービスエンジニア二級テキスト(ハード編・ソフト編)								
授 業 計 画 表								No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)						
1	1	電気装置 1. 周辺知識						
	1	電気装置 2. サーキットテスト						
	1	電気装置 3. 故障診断						
	1	電子制御 1. ECU						
	1	電子制御 2. センサ						
	1	電子制御 3. アクチュエータ						
	1	電子制御 4. 総合診断						
	1	周辺知識 1. 騒音・振動						
	1	周辺知識 2. 雨漏れ						
	1	周辺知識 3. HVEシステム						
	1	周辺知識 4. 燃費向上技術						
	1	周辺知識 5. 総合故障診断						
	1	フロント業務						
	1	お客様満足の向上						
	1	状況の把握						
	2	理解度確認						
	1	単元確認						

授 業 計 画(シ ラ バ ス)

[illegible]

授業計画(シラバス)

教科	実習 測定作業	科目	応用計測		対象級	専門課程 一級自動車研究開発 学科3年(一級コース)	作成月日	25/04/01
							開講期	前期
教科担当	別紙参照							
実務経験教員授業	非該当	総時限	8時限	授業方法	実習・実技	評価方法	実習試験 単元試験	レポート評価 取組加減
〔授業概要・目的〕								
・一級整備士レベルでの電気の計測機器についての知識・技術を習得する。								
〔授業の到達目標〕								
・デジタル式サーキット・テスタについての知識・技術を習得する。								
・サーキット・テスタの確度計算について、理解する。								
・オシロスコープの基礎的な知識・技能を修得する。								
〔学習評価の基準〕								
各試験点数の基準、授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。								
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの								
各試験点数の評価は 5:90 ～100点 4:75 ～ 89点 3:60 ～ 74点								
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。								
レポートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普 通 2:やや劣る 1:劣る(再提出の必要がある)								
〔使用教科書・教材等〕								
一級自動車整備士 エンジン電子制御装置、サーキット・テスタ、オシロスコープ、シビック								
授 業 計 画 表								No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)						
1	4	サーキット・テスタ						
	2	オシロスコープ						
	2	実車各種測定						

授業計画(シラバス)

教科	実習 自動車整備作業	科目	整備技術			対象級	専門課程 一級自動車研究開発 学科3年(一級コース)	作成月日	25/04/01
								開講期	前期
教科担当		別紙参照							
実務経験教員授業	非該当	総時限	70時限	授業方法	実習・実技	評価方法	実習試験 単元試験	レポート評価	取組加減
[授業概要・目的]									
・一級整備士、サービスエンジニア二級レベルでの知識・技術を習得する。									
・販売店OAシステムについて、知識・技術を習得する。									
[授業の到達目標]									
・販売店OAシステム(e-Dealer)のサービスフロント・システムについて、知識・技術を習得する。									
・車検・点検整備作業が確実に時間内にできる。									
・自動車電子制御に関わる電気・電子の知識を習得する。									
[学習評価の基準]									
各試験点数の基準、授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。									
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの									
各試験点数の評価は 5:90～100点 4:75～89点 3:60～74点									
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。									
レポートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普通 2:やや劣る 1:劣る(再提出の必要がある)									
[使用教科書・教材等]									
一級自動車整備士 エンジン電子制御装置、サービスフロント・システム、サーキット・テスト、オシロスコープ、シビック、自動車定期点検整備の手引き、フリード									
授 業 計 画 表									No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)							
1	4	テスト・リード線の作成							
	13	サービスフロント・システム 概要と各種操作・帳票作成							
	17	12ヶ月定期点検整備							
	2	実習確認							
	10	エンジン電子制御 1. 電源回路							
	2	エンジン電子制御センサ:1. 論理信号センサ 1)圧力検出式							
	2	エンジン電子制御センサ:2. リニア信号センサ 1)水温センサ							
	2	エンジン電子制御センサ:2. リニア信号センサ 2)バキューム・センサ							
	16	24ヶ月定期点検整備							
	2	実習確認							

授業計画(シラバス)

教科	実習 自動車整備作業	科目	故障診断		対象級	専門課程 一級自動車研究開 発学科3年	作成月日	25/04/01		
							開講期	後期		
教科担当	別紙参照									
実務経験教員授業	非該当	総時限	27時限	授業方法	実習・実 技	評価方法	実習試験	単元試験	レポート評価	取組加減
〔授業概要・目的〕										
・一級整備士、サービスエンジニア二級レベルでの知識・技術を習得する。										
・故障診断の基礎力を習得する。										
〔授業の到達目標〕										
・故障診断の基礎力を習得する										
・自動車電子制御に関わる電気・電子の知識を深める。										
〔学習評価の基準〕										
各試験点数の基準、授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。										
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの										
各試験点数の評価は 5:90 ～100点 4:75 ～ 89点 3:60 ～ 74点										
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。										
レポートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普 通 2:やや劣る 1:劣る(再提出の必要がある)										
〔使用教科書・教材等〕										
一級自動車整備士 エンジン電子制御装置、シャシ電子制御、ホンダサービスエンジニア二級テキスト、サーキット・テスタ、オシロスコープ、シビック、フリード、ステップワゴン										
授 業 計 画 表									No. 1	
STEP	標準時限	授業内容(項目)								
1	4	ステッピングモータ 1. ユニポーラ駆動式駆動信号電圧の観察								
	3	ステッピングモータ 2. バイポーラ駆動式駆動信号電圧の観察								
	4	リニアDCブラシレスモータ								
	2	差動同軸トランス式センサ								
	1	故障診断 1. 問診について								
	1	故障診断 2. スナップショットデータの取得								
	1	故障診断 3. 仮説立て								
	3	故障診断 4. HDSパラメータ説明								
	3	故障診断 5. 実車で正常状態を確認								
	1	故障診断 6. データ解析と良否判断のまとめ								
	3	故障診断 7. スナップショットデータ解析								
	1	実習確認								

授業計画(シラバス)

教科	実習 自動車整備作業	科目	故障診断		対象級	専門課程 一級自動車研究開発 学科3年(一級コース)	作成月日	25/04/01	
						開講期		前期	
教科担当	別紙参照								
実務経験教員授業	非該当	総時限	30時限	授業方法	実習・実技	評価方法	実習試験	単元試験	レポート評価 取組加減
〔授業概要・目的〕									
・一級整備士、サービスエンジニア二級レベルでの知識・技術を習得する。									
・故障診断の基礎力を習得する。									
〔授業の到達目標〕									
・自動車電子制御に関わる電気・電子の知識を習得する。									
・エンジン電子制御のアクチュエータについて、知識・技術を習得する。									
・故障診断の知識・技能を習得する。									
〔学習評価の基準〕									
各試験点数の基準、授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。									
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの									
各試験点数の評価は 5:90 ～100点 4:75 ～ 89点 3:60 ～ 74点									
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。									
レポートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普 通 2:やや劣る 1:劣る(再提出の必要がある)									
〔使用教科書・教材等〕									
一級自動車整備士 エンジン電子制御装置、サーキット・テスタ、オシロスコープ、シビック、フリード									
授 業 計 画 表									No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)							
1	2	アクチュエータ 1. スイッチング駆動アクチュエータ							
	3	アクチュエータ:2. リニア駆動アクチュエータ 1) VTC油圧バルブ							
	9	アクチュエータ:2. リニア駆動アクチュエータ 2) 電子式スロットル・バルブ(リニアDCブラシ・モータ)							
	14	故障診断技術							
	2	実習確認							

授業計画(シラバス)

教科	実習 自動車整備作業	科目	応用整備実務		対象級	専門課程 一級自動車研究開発学科3年	作成月日	25/04/01
							開講期	後期
教科担当	別紙参照							
実務経験教員授業	非該当	総時限	57時限	授業方法	実習・実技	評価方法	実習試験 単元試験 レポート評価	取組加減
〔授業概要・目的〕								
・一級整備士、サービスエンジニア二級レベルでの知識・技術を習得する。								
・クイックサービスについて知識・技能を習得する。								
〔授業の到達目標〕								
・問診・整備内容説明などのお客様対応を含む総合的な故障診断技術を理解習得する。								
・難問修理に関する基礎知識を理解習得する。								
・自動車電子制御に関わる電気・電子の知識を深める。								
〔学習評価の基準〕								
各試験点数の基準、授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。								
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの								
各試験点数の評価は 5:90 ～100点 4:75 ～ 89点 3:60 ～ 74点								
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。								
レポートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普通 2:やや劣る 1:劣る(再提出の必要がある)								
〔使用教科書・教材等〕								
一級自動車整備士 エンジン電子制御装置、シャシ電子制御、ホンダサービスエンジニア二級テキスト、サーキット・テスタ、オシロスコープ、シビック、フリード								
授 業 計 画 表								No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)						
1	1	ADASの基礎						
	3	エイミング作業						
	4	実車故障探求(ヘッドライト)						
	4	実車故障探求(パワーミラー)						
	1	FTA手法について						
	13	エアコンシステム 基礎と各種整備作業・故障探求・性能テスト						
	2	実習確認						
	8	ABS						
	4	CAN通信						
	2	BCM						
	14	クイック作業の実践 導入説明と各種部品の脱着作業実践						
	1	実習確認						

授 業 計 画(シ ラ バ ス)

[illegible]

授 業 計 画(シ ラ バ ス)

教科	実習 自動車整備作業	科目	整備作業課題研究		対象級	専門課程 一級自動車研究開発 学科3年(一級コース)	作成月日	25/04/01
教科担当		別紙参照						
実務経験教員授業	非該当	総時限	40時限	授業方法	実習・実技	評価方法	レポート評価 取組加減	
〔授業概要・目的〕								
・グループテーマによる研究								
〔授業の到達目標〕								
・グループテーマによる研究及び発展的な個人研究を行い、より自動車整備に関する知識技能を理解習得する。								
〔学習評価の基準〕								
各試験点数の基準、授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。								
レポートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普 通 2:やや劣る 1:劣る(再提出の必要がある)								
〔使用教科書・教材等〕								
グループテーマごとに準備した教材・資料。								
授 業 計 画 表								No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)						
1	1	1. 概要説明						
	5	2. テーマアップ						
	4	3. テーマ企画・検討						
	2	4. 企画書作成						
	20	5. テーマ企画による作業・検証						
	4	6. 発表会資料作成						
	4	7. 発表会						

授業計画(シラバス)

教科	実習 自動車検査作業	科目	自動車検査(一級)		対象級	専門課程 一級自動車研究開発学科3年	作成月日	25/04/01
							開講期	後期
教科担当	別紙参照							
実務経験教員授業	非該当	総時限	13時限	授業方法	実習・実技	評価方法	実習試験 単元試験 レポート評価	取組加減
〔授業概要・目的〕								
・一級整備士、サービスエンジニア二級レベルでの知識・技術を習得する。								
・振動騒音分析器の取扱いについて、知識・技術を習得する。								
〔授業の到達目標〕								
・振動騒音分析器DS2000、CF7200Aについて、知識・技術を習得する。								
・振動騒音分析器VA－11Mについて、知識・技術を習得する。								
・自動車検査登録事務所の業務について、知識を習得する。								
〔学習評価の基準〕								
各試験点数の基準、授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。								
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの								
各試験点数の評価は 5:90 ～100点 4:75 ～ 89点 3:60 ～ 74点								
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。								
レポートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普通 2:やや劣る 1:劣る(再提出の必要がある)								
〔使用教科書・教材等〕								
一級自動車整備士 シャシ電子制御装置、振動騒音分析器DS2000、CF7200A、VA－11M、加振器、フリード、シ								
授 業 計 画 表								No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)						
1	2	導入 取扱い機器の説明						
	2	DS2000 機器設定と振動計測						
	2	CF7200A 機器設定と振動計測						
	4	VA－11M 機器設定と計測 及び加振機						
	1	実習確認						
	2	和泉自動車検査登録事務所見学						

授業計画(シラバス)

教科	実習 サービスマネジメント	科目	サービスマネージメントⅠ		対象級	専門課程 一級自動車研究開 発学科3年	作成月日	25/04/01		
							開講期	後期		
教科担当	別紙参照									
実務経験教員授業	非該当	総時限	24時限	授業方法	実習・実 技	評価方法	実習試験	単元試験	レポート評価	取組加減
〔授業概要・目的〕										
・一級整備士、サービスエンジニア二級レベルでの知識・技術を習得する。										
〔授業の到達目標〕										
・自動車電子制御に関わる電気・電子の知識を習得する。										
・ホンダアクセスのケミカル用品について、知識・技術を習得する。										
〔学習評価の基準〕										
各試験点数の基準、授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。										
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの										
各試験点数の評価は 5:90 ～100点 4:75 ～ 89点 3:60 ～ 74点										
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。										
レポートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普 通 2:やや劣る 1:劣る(再提出の必要がある)										
〔使用教科書・教材等〕										
一級自動車整備士 エンジン電子制御装置、サーキット・テスト、オシロスコープ、単体電子部品										
授 業 計 画 表									No. 1	
STEP	標準時限	授業内容(項目)								
1	3	EPS 1. トルクセンサの電圧測定								
	3	EPS 2. アクチュエータの電圧測定								
	2	EPS 3. フィードバックセンサの電圧測定								
	2	EPS 4. ヒューズ切れ								
	2	実習確認								
	2	ホンダアクセスケミカル用品研修								
	10	整備作業課題研究発表資料作成、発表								

授業計画(シラバス)

[illegible]